

瀬戸内タウンミーティング（豊原地区）

平成 24 年 10 月 16 日（火）午後 7 時～午後 9 時
豊原コミュニティセンター 大会議室

参加者：男性 9 人、女性 1 人、計 10 人

意見交換

・東谷には救急車が転回する場所がなく、先日も個人所有の私道を使用した。この道を市道にしてほしい。県有地があるので、市道に 2、3 枚床板をかけて拡幅すれば Uターンできるはず。建設課にはまだ伝えていないが、議員はこの内容を承知しており、実施の見込みがあるとの話をもらっている。

（市長）建設課に確認する。

・下水道の接続状況を知りたい。またそれに対する市の考えは。

（市長）数字ははっきり把握していないが、本市は低いと思われる。接続自体は法律に定められた義務であるが、それぞれの家庭の経済状況もあり、厳しい対応をとることが難しい。バランスをとる必要がある。

・市民病院を受診したが、非常に低額であった。また、市民病院に転院するよう進めたが、市民病院は 3 カ月までしか入院ができないと聞いた。診察料の増額、ベッドの稼働率の増加等、利益が上がるよう経営上の工夫をしてはどうか。

（市長）3 カ月という期限は民間でもあるのではないか。継続して入院することも可能だが、診療報酬の関係で退院を促すことになる。なお、新設する市民病院は療養病棟を造るため、長期入院しやすくなると思われる。また、回復期リハビリ（後方支援施設）を設置する。

（参加職員）低額なのは、再診療だったためではないか。市は、民間と横並びではなく、低廉かつ質の良い医療の提供を目指している。

・モーモースの利用について、ステップが高く乗降が困難なため、利用を控えているとの話を聞いたが、市の対応は。

（まちづくり推進課長）モーモースのステップは、高齢者の使用を念頭においているため、かなり低く作っており、路線バス、市のバスよりも乗りやすいと思われる。

・来年の市長選と市議選は同日選挙とするのか。

(市長) 同日に行った方が経費的に安くなる。期間的には可能であるが、最終的には選挙管理委員会が決定する。

・大窪神社から東に伸びる参道は、自転車の往来が激しく、夜間も暗いため、事故が発生する危険性が高い。また、通学路でもあり、拡幅してほしい。なお、以前建設課には要望を行っている。

(市長) 地元からも建設課へ強く必要性を伝えてほしい。境内地であり、神社庁の許可が必要ではないか。

・湯水時にポンプの稼働が困難な場合がある。圃場整備の効果が出ていない。岡山市が関係するため、話が進んでいないのではないかと。もう少し岡山市に対して強く要望してはどうか。

(市長) 産業建設部長から話はしており、予算を計上して設計を行っているが、県に対しても実現に向けて、さらに協議を進めていきたい。

・釣り公園の駐車場の中央に電柱が建っており、車両の衝突事故も発生している。設置の必要性がないと思われたため、建設課に2年ほど前に移設を要望したが、予算の確保、中電との協議等が必要といわれた。再度移設を検討してほしい。

(市長) 自治会から要望書を出してほしい。自分からも伝えておく。

・豊原コミュニティーの地盤は低い。避難場所の見直しを行ってはどうか。また、洪水時には県道は通行不能になるため、千町川を境に避難区域を南北に分けてはどうか。

(市長) 以前の想定は吉井川が決壊するとの想定であったが、新しいものでは、決壊しないことが前提になっており、新しいハザードマップにおいてもこの辺りは浸水しないことになっていたはず。こうした想定を基に避難場所についても見直しをかける。